



自ら意欲的・積極的に学び、 情報技術と実践力を身に付ける

近年の情報技術の進展はめざましく、インターネットが世界との距離を短くし、コミュニケーションの方法も大きく変わりました。また、Web ページからは様々な情報が得られ、音楽や動画もネットワーク経由で配信される時代になりました。

このような情報化社会を支えるために、情報科では情報分野の将来のスペシャリストを目指して多くの生徒たちが日々学習に取り組んでいます。プログラム作成やネットワークシステム構築などの情報システムに関する内容や、情報デザインや色彩、静止画・動画、Web ページの制作などの情報コンテンツの制作・発信に関する内容について、実践的・体験的な学習活動を通して学んでいます。

情報科で取り上げる情報分野とは以下のようになります。

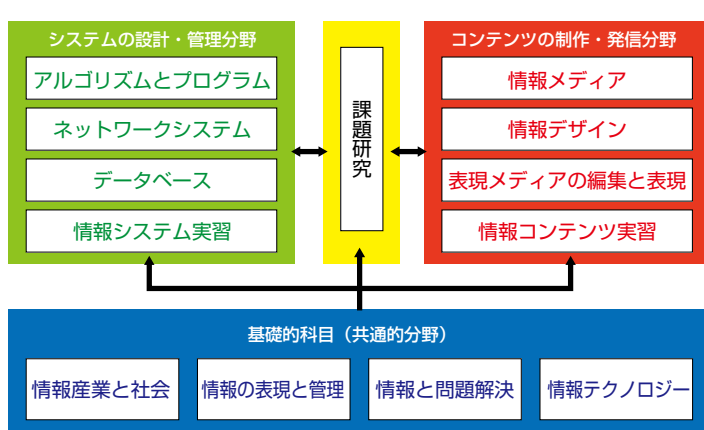
(1) システム設計・管理分野

情報システムの開発（設計・管理）に関する知識と技術を学びます。

(2) 情報コンテンツの制作・発信分野

情報コンテンツの開発（制作・発信）に関する知識と技術を学びます。

専門教科情報科の科目構成のイメージ図



生徒たちのチャレンジ

情報科で学ぶ生徒たちは、共通教科の学習はもちろんのこと、専門教科の学習に意欲的に取り組んでいます。専門教科では実習を中心とした授業も多く、自分でテーマを設定して研究に取り組む課題研究という科目もあります。

近隣の大学や企業と連携して、専門的な授業やインターンシップを行うなど、普通科では経験できない学びがここにあります。



市民パソコン講座での講師補助



ポスターによる研究成果の発表



タブレットPCを使ったプレゼンテーション実習



C言語によるプログラミングの授業



産業教育フェアでの発表

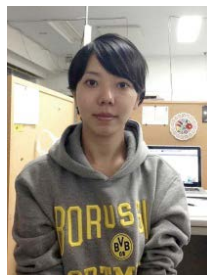


パーソナルコンピュータの組立実習



情報処理技術者試験へのチャレンジ

卒業生からのメッセージ



東北大学大学院 理学研究科
相澤 紗絵さん
(千葉県立柏の葉高等学校
情報理数科 平成21年度卒業)

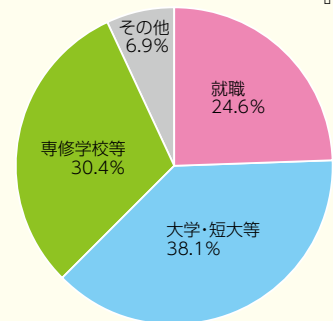
私は、高校卒業後に大学に進学しましたが、そこで役に立ったのは、「課題研究」という授業で、自分たちで課題を設定して研究に取り組んだ経験でした。計画を立てて取り組むこと、成果を発表することなどは、大学生になった際にとっても役立ちました。

現在は、大学院生としてさらに専門的な研究に取り組む毎日です。シミュレーションを用いて研究を進めているのですが、高校時代に学んだプログラミングの知識が基礎となっています。高校時代の下地があるので、一緒に学んでいる他の人のように基礎的なことから学ぶ必要はなく、情報科で学んでいてよかったと実感しています。「課題研究」などの授業を通して、自ら積極的に学んでいく姿勢を養うことができる点は、普通科にはない大きな魅力だと思います。

卒業後の進路

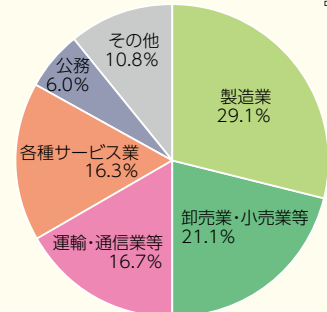
情報系を中心に、さまざまな分野の大学・専門学校への進学が増えています。就職は地元企業が中心となっています。

計 984人



就職者の業種別内訳

計 251人



文部科学省「学校基本調査」(平成28年3月卒業者)から作成。

在校生が目指す主な資格等

ITパスポート試験|基本情報技術者試験|応用情報技術者試験|CGクリエイター検定|CGエンジニア検定|Webデザイナー検定|マイクロソフト オフィス スペシャリスト|ICTプロフィシエンシー検定 ほか